

河辺林通信

建部北町の森から

2017年3月号 No.227



↑2月9日の梅の様子

2月の梅模様

最初にウメを見たのが2月9日でした。それから約1ヶ月が経ちます。梅の開花状況は3分咲きといったところですが、最近あたたかくなってきたので、梅も花を咲かせてきました。咲かせてきてはいますが、まだまだ満開にはほど遠いです。

いつごろ満開になるかはわかりませんが、私は3月中旬だと思っています。かわべえフォトログ2のほうでも、梅の開花状況を更新していきたいと思っていますので、フォトログの方もぜひご覧下さい。

モリイコ!の子どもたち



モリイコ!もついに10回目。最終回もいつも通り森たんけんから。うさぎのうんちを見つけたり、梅の花やつくしを見つけて春の近づきを感じました。たんけんの後は、森のいきものカードでいきものたちの繋がりを知り、常緑樹の伐採をしました。伐った木は太い所は薪に、細い枝は色鉛筆に。ノコギリや小刀を一生懸命に使って森を守り、お土産も作ることができました。

モリイコ!保護者の方の声

毎月保護者の方にご記入頂いているモリイコノートと10回の活動終了後のアンケートの中から、一部ですが抜粋してご紹介致します。

自分で小刀を使って舟を作れた事、どんな仕組みで舟が動くのか、キラキラした目で話してくれました。川のいきもの掴みでは…靴に入ってくる砂などに慣れず、集中出来なかった事など…今時の子供らしい感想に驚いたり、笑ったり、毎回親も発見がいっぱいです!!

たき火をしたと言うので、どういう風にしたのか聞いてみたところ、こんな木を使うのがいいとか、どうやって見分ければいいのか、たくさん説明してくれました。本で読んだだけだと、すぐに忘れてしまうのですが、きちんと身につけているように思えます。体験するって大事なんだなあと感じました。



「モリイコ!S」の最終回は子供たちの家族の人も交えての活動でした。積み重ねてきた「モリイコ!カ」をうちわや網、ノコギリを使ったゲームや森たんけんをしました。おうちの人たちにイキイキと森案内したり、お父さんのノコギリの竹の薄切り競争での見事な腕前にかっこいい!となったりして盛り上がりました。お昼からは、モリモリロール作り。小刀で串を作り、たき火をしてつけた炭火でほっぺを真っ赤にしながらかいて食べました。

モリイコ!Sの10回目で親子参加してみて、遊びがいっぱいすぎて、楽しすぎ!!TVやゲームをして1日休みを過ごしてしまう日もある中、月に1回でも、モリイコに参加している時間はすごく価値のあるものだと感じました。夏にバーベQをして川遊びをして帰る…それも楽しいけれど、遊びをいっぱい教えてもらって、道具も自分たちの手作り、買った物で遊んで「楽しい」と感じるのとまたちがう質の高い「楽しい」と感じれる気がします。まだまだお兄さん達に助けられての参加だったので、来年度も参加して色々レベルアップしてくれるといいです。

●2月の作業だより

第2土曜日（2月11日） 36人

① 雪下ろし班 雪が積もり、頭を垂れていた竹を、思いきり揺らし、雪を落としました。汗と雪で、全身びしょ濡れでした。



② 柴づくり班 ノコギリで切り、柴作り。細い木は子どもが、太めの木は大人ががんばりました。

③ 鉛筆づくり班 春休みに使用する、木の鉛筆を作りました。午後はみんなで行き100本以上出来ました。

④ お昼ご飯班 雪の中の活動日だったので、あったかシチューでした。

木ままクラブ（2月2日） 12人

一日降り続く雪の中、炭焼きをするために、窯に枝を詰めました。また、森の入口からセンター前までの折れ枝を回収しました。

梵釈寺（2月16日） 18人

日が射すと、暖かい日でした。ドングリの木を伐採し薪にしました。まだまだ常緑樹も多いので、伐採もしました。

第4水曜日（2月22日） 18人

雪で折れた、竹や枝を林内から回収しました。また、12月に採集したオカトラノオのタネ撒きをしました。春になりどんな芽を出すのか楽しみです。

3月の活動日

3/2 (木)	木まま 林内整備
3/11 (土)	林内整備 落ち葉かき
3/16 (木)	木まま 梵釈寺
3/22 (水)	木・竹伐採 林床整備

朝 9:00～（遅刻可）

第2土曜日は、9:00より

1時間ほど観察会を行います

2月観察会

今回の観察会も「雪」をテーマに行いました。「青女（せいじょ）」「不香の花（ふきゅうのはな）」

これは、ある言葉の別名ですが、分かりますか？実は雪の別名です。青女は古代中国の雪の女神の名前にちなんで、また不香の花は「香りのない花」という意味から、雪はこのような別名で呼ばれることがあるそうです。別名ではありませんが、淡雪や豪雪、根雪、俄雪（にわかゆき）など、雪の状態を表す言葉が日本語は数多くあります。

日本の自然は、恵まれた四季の変化があり、自然と共に生活してきたからこそ、生まれたことばやことわざがあることに、改めて気づきました。日々の小さな変化に気づける目を持ち、自然と寄り添って暮らすことで、日本人としての温かで、豊かな感情も受け継いでいきたいなと思いました。雪のことばの勉強の後は、林冠トレイルに登りました。前日に積もった親雪がキラキラと輝いて、森の中はとても美しい雪景色でした。



遊林会のロゴが変わりました！



ホームページや、かわべえフォトログではお知らせしていましたが、遊林会のロゴをリニューアルしました。遊林会の「遊」の字を、里山にふさわしい「ドングリ」の芽生えと、保全した里山で見られる「笑顔」であらわしました。

新たなロゴとともに、これからも多くの命が誕生し、たくさんの笑顔があふれる“里山”づくりをめざしていきます。

春休みイベント申込み開始！

25日から始まる春休み、森では小学生向けのイベントを行います！早速申込みの電話をいただいています。デイキャンプや木でブランコを作るイベント、たき火に工作！申込みは12日まで！申込み不要のクイズラリーも行います。ぜひ森に来てくださいね！



編集後記

今年度は激動の一年でした。神奈川から滋賀に来て、イントネーションや方言に驚いたり、触ったことのない機械を使ったりと大変でした。しかし、根気よく教えていただいたことで、ようやく一人で立てるようになりました。来年度もご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。 望月

【発行者】

特定非営利活動法人
里山保全活動団体 遊林会
代表理事 井田 三良

〒527-0003

滋賀県東近江市建部北町531
河辺いきもの森内

電話：0748-20-5211

メール：ikimono@e-omi.ne.jp